

● 河川復元の概要

1. 河川名	2. 国名
長江	中国

-3. 摘要

「生きている長江」プログラム：

長江および周辺の湖沼群のエコ・リージョン(生態的地方の領域単位)は中国の最も重要な淡水生態系である。この地域は、中国の人口の 3 分の 1 の 4 億人以上の生活の場であり、「魚とコメの国」である中国文明の揺りかごの一つである。この地方の何千という川・氾濫原湿地における土壌はあまりにも豊穡で、1 年に 3 度の収穫をあげることができる程である。川の下流部では平坦な土地と水が、高密度の人口と密集的工業の集中する諸都市の成長を可能にしている。

この河川低地帯は何世紀にもわたる集中的な開発のため、人間によって改変されていない場所はほとんど残っていないが、にもかかわらず長江は依然として驚くほど豊かな生物群を生存させている。その中には絶滅の危機に瀕しているヨウスコウワニやヨウスコウカワイルカなどが含まれているが、野生に残っているカワイルカは 70 頭以下であると推定されている。400 種の魚類の 3 分の 1 は固有種であり、チュウゴクチョウザメも含まれている。

過去 100 年間に、長江は人間の活動と経済開発によって、森林伐採、湿地干拓、汚染などで被害を受けてきた。その生物多様性は劇的に減少し、頻繁に起こる洪水は人々を家から追い出し、きれいな水は贅沢なものになった。

1998 年、大災害になった洪水の直後に、中国政府は、湿地の復元と森林再生を重視する総合的な治水政策を発表した。WWF は、その「生きている長江」プログラムを持ってすぐさま応じた。このプログラムはこの政策に実践的な支持を与えること、及び長江流域での持続可能な河川流域管理のビジョンと方法を普及させることを目的にしている。教育、デモンストレーション、コミュニケーション、政策討論などを通じて、WWF は 25 年以内に「生きている長江」を徐々に回復することを期待している。

プロジェクトの概要

-2. プロジェクト実施期間

プロジェクト開始時期（立案の開始）：

1998 年

施工開始時期：

1999 年

施工終了時期：

2007 年

-3. 主導機関

WWF 中国プログラム



図 1. 復元された長江のイメージ 25 年以内に生き生きとした長江を回復させ、中国国民にとって、将来のための揺りかごとなるよう、再編する。

● 背景 - 現在

- 1. 原生自然、二次的自然、三次的自然を改変する大規模事業を記述してください (写真や地図、画像を用いて)。その事業の主な要因と目的は何ですか？

表:

	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)
改変後の流路の形状	6363 km		

解説:

- (1) 湿地の干拓：長江の中流および下流において、少なくとも 60%の湿地が耕作地や都市開発のために干拓された。
- (2) 堤防の建設：洪水を予防するために、平均 10-15m の高さの堤防が 3000km にわたって建設された。
- (3) ダム建設：長江流域には、水力発電や飲料水確保、灌漑のために 40,000 以上のダムが建設された。

- 2. 大規模事業の結果として生じたポジティブな、あるいはネガティブな影響は何がありましたか？

- (1) 人間によって改変されずに残っている自然の場所はほとんどなくなった。
- (2) 長江流域では生物多様性が劇的に減少してしまった。
- (3) 頻繁な洪水が何千人もの人を殺し、人々を家から追い出し、農業、工業、都市を破壊したが、それは歴史を通じて何回も起こった。
- (4) きれいな水は贅沢品になった。
- (5) 堤防の維持管理やポンプ施設のためのコストが追加されるようになった。

- 3. ネガティブな影響については、何にその原因がありましたか？

- (1) 長江流域全体わたる森林の消滅、特に水源地地域と上流地域での。
- (2) 広範な湿地干拓(湖を含む) - 農地への転換。
- (3) 人間の活動と経済開発によるあらゆる種類の汚染。
- (4) 1825 年以来、洞庭湖は増大する土砂堆積によって、当初 6,300km² だった広さが現在 2,700km² へと縮小してしまった。その生物多様性は劇的に減少し、頻繁に起こる洪水により、人々は家から追い出され、またきれいな水は贅沢品となった。(www.wwfchina.org)